

MiYAGOSTINI

創刊号

腎機能に注意が必要な薬剤① 抗ウイルス薬編

富士宮市薬剤師会の働きで、各薬局の薬剤棚へ貼付するシールが新たに配布開始となりました。CKDシールと照らし合わせて確認できるようにすることが目的です。

腎機能に注意が必要な薬は多々ありますが、『まずはこれだけでも気を付けてほしい！』という薬をピックアップしてお届けします。その名も『**MiYAGOSTINI (ミヤゴステイーニ)**』です！創刊号は副作用による入院が後を絶たない抗ウイルス薬です。腎機能を確認する最初の一步として、MiYAGOSTINIをぜひご活用ください。

CKDシール **黄色**

CKDシール **赤色**

		GFRまたはCCr (mL/min)										透析		
		60		50		40		30		20			10	
ゾピラックス錠・細粒 (アシクロビル)	帯状疱疹	1回800mg 1日5回				1回800mg 1日3回				1回800mg 1日2回		1日1回体重に応じて400～800mg (血液透析患者では毎透析後)		
	単純疱疹	1回200mg 1日5回				1回200mg 1日3回				1回200mg 1日2回				
バルトレックス錠・細粒 (バラシクロビル)	帯状疱疹	1回1,000mg 1日3回		1回1,000mg 12時間毎		1回1,000mg 24時間毎		1回500mg 24時間毎		1回500mg 24時間毎		体重60kg以上で非高齢者では、1回500mgを週3回透析後(※2)		
	単純疱疹	1回500mg 1日2回		1回500mg 12時間毎		1回500mg 24時間毎		1回500mg 24時間毎		1回500mg 24時間毎				
ファムビル錠 (ファムシクロビル)	帯状疱疹	1回500mg 1日3回	1回500mg 1日2回		1回500mg 1日1回		1回250mg 1日に1回		血液透析：1回250mgを週3回透析後 腹膜透析：1回250mgを2日に1回					
	単純疱疹	1回250mg 1日3回(※1)	1回250mg 1日3回		1回250mg 1日2回		1回250mg 1日に1回							

(※1：再発性の単純疱疹の場合は、1回1,000mgを1日2回) (※2：それ以外の症例には他剤を選択)

詳細

- 腎排泄型薬剤のため、CKD患者に投与する場合は投与量の調節が必要です。副作用としてアシクロビル脳症があり、呂律困難、振戦、昏睡等が起こります。実際、過量投与が原因での入院が後を絶ちません。
- 薬剤が尿細管で結晶化することで急性腎障害を誘発するため、溶解度を上げる目的で飲水を促すよう注意喚起がされています。実際にアシクロビルやバラシクロビルの添付文書には、腎機能低下患者や高齢者においては適切な水分補給を促すよう記載されています。
- NSAIDsは腎障害を誘発する可能性があるためNSAIDsを服用する場合、屯用へ変更するかアセトアミノフェンに変更するなど工夫が必要となります。
- 抗ウイルス薬としてアメナリーフ(アメナメビル)もありますが、排泄は主に糞中で、適応は帯状疱疹のみです。

指導時のワンポイント!

- 抗ウイルス薬をみたら
- ①まずは腎機能を確認
 - ②こまめな飲水を促す
 - ③NSAIDsとの併用に注意!

編集後記

広報名のミヤゴステイーニは、あの作って集めるデコアゴステイーニから拝借しました。創刊号を含めて全8回お届けする予定なので、集めてコンプリートしてほしい！という思いを込めています。次回は2021年12月に発行予定です。よろしくお祈りします！ (富士宮市立病院 薬剤部 A.I)